

# 安倍超長期政権の行方

「インサイドライン」編集長 歳川隆雄

- \*意外にまともだった議会演説
- \*思想家としてのステイブ・パノン
- \*日米首脳会談成功の舞台裏
- \*長時間に及んだテ・タテ会談
- \*安倍首相のシヨッピングリスト
- \*経産省主導だった下準備
- \*最強のネゴシエーターを投入
- \*衆院解散は11月以降に
- \*公明党との関係は不変
- \*政権内の権力闘争説も



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日はおなじみの歳川さんに来ていただきま  
した。安倍政権が高支持率で政界は少し風なの  
かなと思っていたところで、いろいろ問題が起  
きまして、いつもながらタイミンクのいい講演  
をしていただくことになりました。政治の世界  
では一寸先は闇と言いますが、はたして  
どうなるか。詳しくお話しいただけると思いま  
す。それでは歳川さん、よろしく願います。  
ます。（拍手）

## 意外にまともだった議会演説

歳川 皆さんこんにちは。またしばらくの間  
私の話にお付き合い願いたいと思います。  
まずもって申し上げるべきは、日本時間は昨

日、アメリカ・ワシントン時間では28日夜9時  
からのアメリカ連邦議会、上下院合同会議での  
トランプ大統領のいわゆる施政方針演説です。  
テレビのニュース、そして翌日の新聞でもトラ  
ンプ演説の趣旨が大きく報じられているので、  
皆さんも読んだり、見たり、聞いたりされたと  
思います。私もそうでしたが、あれっ？という  
意外感を覚えました。一言で言えば、まともだ  
ったわけです（笑）。

まず、真実、自由、正義の三つのワーディン  
グが演説冒頭に出てきました。この三つのワー  
ディングの後に続いた言葉は、この三つの火を  
消さないということを最初トランプは言い切り  
ました。まさにジョン・F・ケネディの大統領  
就任式の演説を彷彿とさせるワーディングを使